

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
オリンピック・パラリンピック教育推進校

事業実施報告書

学校名【 横浜市立 本町小学校 】

1 実践テーマ	【スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築】 【スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び】
2 実施対象者	①全校児童 ②6年1組 総合的な学習の時間 ③希望者
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ・成田真由美さん招聘 ・ラポールの施設見学、ボッチャ体験 ・オリンピック・パラリンピックを盛り上げるイベントの企画、運営 ② 行事名（特別活動）運動会（オリ・パラ音頭）、長縄大会 ・運動会PTA 種目でのオリ・パラ音頭実施 ・スポーツ委員会主催の長縄大会 ③ その他（人権週間）福祉の取組 ・1年・個別学習教室 「手話体験」 ・2年「車いすの友達が楽しめるルールを考えよう」 ・3年「ボッチャ体験」 ・4年「心を結ぶ1本ロープ」 ・5・6年「車いすバスケットボール選手の生き方から学ぶ」 (2) 地域における活動 ① トライアスロン横浜大会のイベント参加 ・トライアスロン選手との交流 ② 「スポーツの子カラフォーラムⅡ」のイベント参加 ・村岡 桃佳氏（2018年平昌パラリンピック女子大回転座位金メダリスト）との交流
4 目標 (ねらい)	○スポーツを通して子どもたちがいきいきとした生活を送ることができる。 ア) 体力向上の推進 イ) トップアスリートとの連携・協働の推進 ウ) 地域との連携強化
5 取組内容	ア) 体力向上の推進 ○長縄大会の実施（全校集会において3分間の記録会を実施） ・6月と1月に縄跳び集会を開催し、各クラスで記録に挑戦した。 ○スポーツタイムの実施 ・毎週火曜日、木曜日の昼休みに、スポーツ委員が様々な運動（縄跳び、ボール投げなど）の体験コーナー を設置。児童は、自由参加。

イ) トップアスリートとの連携・協働の推進

○パラリンピアン（成田真由美選手）

を招いて講演会と水泳の実演

・6年1組の総合的な学習の時間において、パラリンピックを取り上げ、朝会で、成田真由美さんのことを全校で紹介した。

・7月に成田選手が学校を訪問し、全校での講演会を実施

（メダルをさわらせてくれた）

・5年生6年生には、実際の泳ぎを見せていただいた。



○トライアスロン横浜大会の選手との交流

・山下公園で実施されたトライアスロン大会において、小学生の希望者と選手が交流する事業に参加した。



○「スポーツのチカラフォーラムⅡ」のイベント参加

・みなとみらいで実施されたイベント

に希望者が参加し、村岡 桃佳氏（2018年平昌パラリンピック女子大回転座位金メダリスト）と交流した。

ウ) 地域との連携強化

○オリ・パラ音頭を地域の方と合同で練習し、運動会のPTA種目として実施した。

・6年1組の児童が、踊りの先生から、オリパラ音頭を教わった。

・6年1組の児童が、全校児童にオリンピック・パラリンピック音頭を教えて練習した。

・市民局から、法被を借りて、運動会当日に6年1組の児童やPTA役員、職員が着て踊った。



○6年1組の子ども達から要望があり、PTA活動で収集しているベルマークで、ボッチャの用具を購入していただいた。3月12日オリパラ500日前に、全校で集会を行い、500日前を祝うとともに、PTAより、ボッチャの贈呈があった。ボッチャは、今後も教育活動で活用していく。

6 主な成果

○子どもたちのスポーツに対する意識が向上した。

・長縄を年間通して取り組んだことで、誰もが運動経験を持つことにつながった。

○オリンピック・パラリンピックに対する知識が深まった。

・6年1組の総合的な学習の時間の取り組みで、「オリンピック・パラリンピックを盛り上げたい」という思いで、全校に向けてイベントを行った。オリンピック・パラリンピックの概要や歴史などの紹介、パラリンピアンから学んだことの発表、ボッチャ体験などを通して、全校の児童がオリンピック・パラリンピックにふれる機会になり、関心が高まった。）

	<ul style="list-style-type: none"> ・成田真由美さんとの交流では、金メダルを児童全員が手にすることができ、関心が高まった。成田さんの実際の泳ぎを見て、目標をもったり勇気をもったりする児童がいた。 ○障害をもつ方々との共生社会の在り方について考える機会となった。 ・成田真由美さんが車いすの生活で、日頃困っていることを教えてくださいました。人権週間の取組と合わせて、相手意識が高まったり、障害のある方への理解が深まったりした。 ○地域の方と教育活動でつながることができた。 ・オリ・パラ音頭を地域の方と共に練習する中で、顔の見える関係づくりにつながった。地域の方や PTA の方も、事前に練習をして運動会に来て下さるなどして、児童といっしょにオリパラ音頭を楽しんでくださった。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○児童の主体的な活動になるように、児童の思いや願いを大切にしたり、本校の地域性や特色を生かして実践したりした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に選手と交流したり、種目を体験したりする活動を多く取り入れるとともに、概要や歴史についても調べる時間を十分に確保し、オリンピック・パラリンピックの価値に迫れるようにした。 ・成田さんをお迎えする際には、6年1組の児童が朝会の際に成田さんについて全校に紹介し、児童が、主体的にかかわれるようにした。 ・みなとみらいの近くという地域性を生かして、学校周辺で行われるイベントに積極的に参加して、オリンピック・パラリンピックについて児童が身近に感じられるようにした。
<p>8主な課題等</p>	<p>○パラリンピック選手との交流やイベントの参加については、事前に決まったものではなく、その都度、機会が訪れるものだったので、計画的に行うのが難しかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなイベントが行われ、子どもがどれくらい参加できるものなのか、どんな選手とかかわれるのかが、年度当初にあらかじめわかっているとより、意図的、計画的に実践ができると思う。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○スポーツを楽しむ心を育成するために、学区の付近で開催されるオリンピック・パラリンピック関連のイベントについて児童にお知らせし、積極的に参加するよう呼びかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄跳び集会や、スポーツタイムを継続して、体力づくりに取り組めるよう計画する。 ・今年度は、パラリピアンを招聘することができたので、次回は、オリンピックのトップアスリートをお迎えしたい。